



えい ち

叡智と愛 2.0

臼杵市立北中学校
校長通信 NO.33
令和7年12月22日
文責:戸高浩二

北中生へ

2学期を終えて

長い2学期が終わろうとしている。始業式で「挑み、夢中になり、愛する」2学期にしてほしいと言った。授業や生徒会活動、シン・探究2.0、シン・文化祭2.0などのいろんな場面で、新しいことに挑戦し、夢中になって取り組み、仲間との絆を深める姿をたくさん見ることができた。

【輝く1年生】

1年生は明るく爽やかだ。教室や廊下で仲間と楽しそうに話をしたり、授業で積極的に発表したりする姿を見るのは心地いい。シン・探究2.0では、一人ひとりが自分の役割に責任をもって真剣に取り組んでいた。そして、先輩の後を追いながら、自分たちの持ち味を存分に発揮していた。その1年生のカラーが一番出でていたのがクラス・学年合唱だ。物おじすることなく、堂々と歌う姿。明るくのびのびと大きな声で歌う姿。入学して8ヶ月。学校生活にも慣れ、仲間との絆が深まり、中学生として自覚が高まった姿だった。授業や文化祭、部活動など、いろんな場面で1年生はキラキラ輝いていた。



【飛躍の2年生】

3年生が卒業した後から北中を背負うことになる2年生。2学期は部活動やシン・探究2.0、修学旅行、文化祭などの場面でリーダーとしての素地を築いてきた。

部活動の新人戦では、先輩の後を引き継ぎ、各会場で躍動する姿を見た。シン・探究2.0では、昨年の経験を生かしながら、2年生のパワーあふれるパフォーマンスを存分に発揮していた。修学旅行では、バスの中やUSJなどで楽しむ場面と、静かにしたりルールを守ったりする場面で、メリハリのある姿を見ることができ、成長を感じた。そして、一番思い出に残っているのは学年合唱だ。歌う直前の全員の真剣な眼差しは、今もまぶたに焼き付いている。私は確信した。「この2年生がいるなら、これからも北中は大丈夫」



【創り上げた3年生】

北中生の絆を深めるため。北中を魅力的な学校にするため。北中がさらにシン化するため。そのために今、自分たちは何をするべきか。そのことに真摯に向き合い、実現させた3年生。その発想力、行動力、そして団結力は実際に見事だった。

生徒会では執行部を中心に、全校を巻き込む企画を考え、これまでにない盛り上がりを見せた。シン・探究2.0では、それぞれのカテゴリーで、いろんなアイデアを出しながら、個性のある作品を創り上げた。そして、シン・文化祭2.0。合唱コンクールが始まる前、3年生全員が肩を組んで心を一つにする姿。この姿は今の3年生を象徴していた。仲間と心を一つにして最高の合唱にする！そんな仲間との絆の深さと先輩としてのプライドを感じた。



昨年度から掲げた学校目標「叡智と愛」。この学校目標の実現に向けて愚直に取り組み、新たな北中を創り上げた3年生。あっぱれ！！